

4 元気な滋賀の経済基盤づくり

時代を先取りする経済活性化基盤の整備

平成18年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

次の時代を見据え交通の要衝としての県の優位性をさらに高める県土づくりを進め、経済基盤の確立を図るとともに、豊かな県民生活の実現を目指して、交通基盤や情報通信基盤の整備・活用を進める。

1 交通基盤の整備

県外との活発な交流を支え、県全域の発展の礎となる高速交通時代にふさわしい広域交通網の整備に取り組むとともに、県内地域間の連携と交流を促し県土の均衡ある発展を図るため、広域交通網と一体となった県土幹線交通網の整備を進める。

（1）広域交通網の整備

- ・東海道新幹線新駅の設置促進 250,443千円
- ・新幹線駅活用方策検討調査費 7,006千円

（2）県土幹線交通網の整備

- ・琵琶湖環状線の整備促進 2,792,927千円
- ・琵琶湖環状線を生かしたまちづくり推進事業（湖北）（再掲） 12,448千円
- ・県土主要幹線道路の整備 21,480,217千円
- ⑨ 南部地域交通渋滞緩和ソフト対策検討事業（湖南・甲賀）（再掲） 8,283千円

2 琵琶湖環状線関連の地域振興の推進

平成18年秋の琵琶湖環状線の開業に合わせ、県内各地域での新たな地域振興、観光魅力の創出を図る。

（1）利用促進

- ・公共交通機関の需要拡大支援事業 14,000千円
- ・エコ交通軸活用事業 4,000千円
- ⑨ 琵琶湖環状線沿線文化財探訪事業（再掲） 4,200千円
- ⑨ 直流通開業利用促進支援事業 6,750千円

（2）開業関連イベント等

- ⑨ 北陸本線・湖西線直流通開業記念事業（湖北） 4,600千円

平成18年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

・琵琶湖環状線実現記念列車等（湖北）	4,150千円
（3）観光誘客	
⑨ ・琵琶湖環状線関連誘客促進事業（再掲）	8,000千円
⑨ ・鉄道で訪れる北近江の旅・企画支援事業（湖北）	1,750千円
・旅行商品化提携事業	2,000千円
・NHK大河ドラマ「功名が辻」関連誘客促進事業（再掲）	15,000千円

3 高度情報化社会の構築

民間主導による情報通信基盤が整備が進む中で、全ての県民がITの恩恵を享受できる情報通信基盤の確立、県民サービスを向上する行政システム化を図り、高度情報化を着実に推進する。

（1）地域の情報化の推進

⑨ ・地上デジタルテレビ放送を利用した情報提供システムの構築	6,200千円
・地域・生活情報通信基盤高度化事業費補助金	191,311千円
・びわ湖情報ハイウェイの民間活用	16,544千円

（2）行政の情報化の推進

・申請・届出等手続の電子化の推進	10,941千円
・建設関係電子入札システムの整備	78,875千円
・県ホームページコンテンツマネジメントシステムの導入	8,600千円
・ハザードマップ・地震被害想定結果融合事業の実施（再掲）	9,000千円
・自動車税に対するコンビニ収納の導入	16,450千円

活力に満ちた新しい地域経済の創造

平成18年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

「産業振興新指針」の基本方針に基づき、積極的な施策展開を図り、県経済の活性化や雇用の安定を目指し、創造型・自律型産業構造への転換を図る。

1 滋賀の特性を生かした産業環境づくりと産学官連携の推進

滋賀県が有するポテンシャルを十分に活かしながら、地域の特性と発案をもとにして、産業活動が展開しやすい環境づくりを進めるとともに、産学官連携体制の構築を図る。

（1）産業活動のための環境づくり

・産業振興新指針の効果的な推進	5,713千円
・県版経済振興特別区域制度の推進	507,730千円
⑨ （仮称）びわこ緑のイノベーション・ヒルズ構想推進事業	13,930千円
⑨ 長浜バイオ大学大学院整備事業資金貸付事業	200,000千円
⑨ 長浜バイオインキュベーション入居者支援事業	7,756千円
・中小企業の技術開発・市場化・販路開拓支援	195,910千円
⑨ プロジェクトチャレンジ支援事業	55,448千円
⑨ TAKUMIテクノロジー企業創出事業	4,068千円
新産業市場開拓トライアル事業	9,100千円
⑨ しがベンチャーサポート事業	800千円

（2）産学官連携の推進

・産学官連携推進事業	16,417千円
------------	----------

（3）産業立地の推進

・企業誘致推進事業	421,225千円
-----------	-----------

2 観光産業の振興

NHK大河ドラマ「功名が辻」の放映や秋の琵琶湖環状線の開業などの好機を生かして、滋賀の魅力在全国に発信し、本県への誘客を促進する。

（1）来訪者の積極的な誘致

・(社)びわこビジターズビューローが実施する観光物産振興事業の支援	312,659千円
⑨ 琵琶湖環状線関連誘客促進事業	8,000千円

平成18年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

	・NHK大河ドラマ「功名が辻」関連誘客促進事業	15,000千円
⑨	・京都駅電照広告設置事業	11,000千円
⑨	・近江“学びの旅”推進事業	10,000千円
⑨	・琵琶湖環状線沿線文化財探訪事業（再掲）	4,200千円
⑨	・自転車タクシー運行モデル事業（湖東）	1,700千円
	（2）地域の観光基盤整備	
⑨	・国際観光サイン整備事業	6,000千円
	・観光地関連施設整備事業	15,000千円
	・歴史回廊を繋ぐ「みなとづくり」	20,000千円
	（3）広域的な交通基盤整備	
	・東海道新幹線新駅の設置促進（再掲）	250,443千円
	・琵琶湖環状線の整備促進（再掲）	2,792,927千円

3 新産業の創出

本県の特性を活かした環境産業、健康福祉産業、バイオ関連産業といった新たな成長分野や多様な分野への展開を見せるIT産業等の育成・振興を図る。

	（1）環境産業の振興	
	・地域結集型共同研究事業	131,671千円
⑨	・環境産業クラスター形成促進事業	1,892千円
	（2）健康福祉産業の振興	
	・健康福祉産業ネットワーク形成推進事業	23,684千円
	（3）バイオ産業の振興	
⑨	・バイオで咲かす花モデル事業	1,500千円
	（4）IT産業の振興	
	・SOHO型ビジネス支援事業	54,161千円
	・びわ湖情報ハイウェイ民間活用（再掲）	16,544千円

4 働きがいのある雇用・労働環境の創出

若年者・障害者・中高年齢者・母子家庭の母等に対し就職の支援、相談業務、職業能力開発の

平成18年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

充実など総合的な就業支援を行うとともに、勤労者の仕事と子育てがしやすい環境が整備されるよう支援を図る。

（1）雇用の安定・確保対策の推進

	・ヤングジョブセンター - 滋賀における若年者の就業支援	20,092千円
⑨	・若年ニート層の親、本人に対する個別相談等による支援	2,552千円
	・働き・暮らし応援センター - による障害者雇用の促進	11,849千円
	・チャレンジドWORK運動の推進	1,106千円

（2）職業能力開発の推進

	・若年者・離転職者に対する職業訓練の実施	30,095千円
	・若者しごとチャレンジプログラムの実施	6,270千円
⑨	・若年求職者に対する就業体験の斡旋	455千円
	・母子家庭の母等に対する職業訓練の実施	11,903千円
	・障害者に対する職業訓練の実施	42,702千円

（3）多様な労働環境の整備

⑨	・次世代育成支援のための行動計画策定推進事業	2,500千円
	・ファミリー・サポート・センター - の運営支援	11,500千円
	・休日労働相談員の設置	5,002千円

滋賀の特性を生かした魅力ある農林水産業の振興

平成18年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

県民の暮らしといのちを支える安全・安心な食料の供給という役割と、自然環境の保全、良好な景観の形成および地域文化の伝承といった多面的な機能を有する農林水産業や農山漁村を、健全な姿で次代に継承するため、滋賀の特性を活かした魅力ある農林水産業の振興を図る。

1 環境こだわり農業の推進

より安全で安心な農産物の供給と琵琶湖等の環境保全など公益的な価値を生み出す環境こだわり農業の普及拡大のため、生産者に対する環境農業直接支払を行うとともに、まとめて環境こだわり農業に取り組めるよう団地化を推進する。また、滋賀県産農産物が滋賀のブランドとなることを目指して、生産者・消費者・事業者等のネットワークづくりやPRを展開する。

(1) 環境農業直接支払交付事業	262,591千円
(2) 環境こだわり農業推進体制強化事業	9,893千円
(3) 環境こだわり農業環境影響調査事業	14,400千円
⑨(4) 環境こだわり農業団地化推進事業	805千円
(5) こだわり滋賀拠点機能強化事業	15,900千円
(6) こだわり滋賀キャンペーン事業	6,246千円

2 活力と魅力に満ちた農業の振興

効率的かつ安定的な農業経営が可能な農業構造の実現をめざして、認定農業者や集落営農組織等の担い手育成対策を総合的に実施する。また、安全・安心で高品質な農産物の安定的な供給をめざし、近江米、近江牛等の品質やブランド力の向上、地産地消の推進を図る。

(1) 意欲ある農業の担い手の育成	
・しがの担い手育成総合サポート事業	12,700千円
・地域農業担い手育成総合支援事業	28,222千円
⑨・担い手緊急確保・育成支援対策事業	13,500千円
・新農業水利システム保全整備事業（県営かんがい排水事業）	962,850千円
(2) 滋賀ブランドの確立と地産地消の推進	
⑨・しがの農業マーケティング創造事業	8,292千円
⑨・近江米安全安心・品質向上緊急対策事業	46,075千円

平成18年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

・近江米グルメアップ推進事業	12,450千円
⑨ ・近江の野菜づくり緊急対策事業	11,396千円
・食肉流通機構整備推進費	259,843千円
⑨ ・“活力ある”「近江牛」等生産流通対策事業	33,700千円
・農作物流通対策（しがの地産地消推進事業等）	5,037千円

3 みどりを守り育てる林業の振興

林業は森林の持つ多面的な機能を重視し、健全な森林の保全・整備を図るため、効率的な林業経営と併せて森林づくりを支える人材を育成する。

⑨（１）間伐促進システム整備事業	47,080千円
（２）林業担い手確保・育成対策事業	6,420千円

4 つくり育てる水産業の振興

琵琶湖漁業の生産基盤である湖底環境の改善やヨシ帯の造成を進めながら、セタシジミ、ニゴロブナ、ホンモロコ等の在来魚介類の種苗放流に努めるとともに、有害外来魚やカワウの駆除、異常繁茂した水草除去を行うことにより、水産資源を回復させ、琵琶湖漁業の再生を図る。

併せて、水産資源の維持培養と湖の環境保全の意識高揚を図ることを目的とした「第27回全国豊かな海づくり大会」の開催に向け、企画および準備を進める。

（１）水産基盤整備事業	204,050千円
（２）シジミ資源増大推進事業	4,600千円
⑨（３）漁民の森づくり推進事業	800千円
（４）有害外来魚ゼロ作戦事業	99,099千円
（５）カワウ漁業被害防止対策事業	21,781千円
（６）多様で豊かな湖づくり推進事業	91,618千円
（７）湖辺の ^{うみべ} にぎわい復活事業	68,500千円
⑨（８）ホンモロコ資源緊急回復対策事業	15,000千円
⑨（９）全国豊かな海づくり大会開催準備	50,000千円

平成18年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

5 心やすらぐ田園空間の創出と多面的機能の発揮

地域の特性や資源を活かした田園空間の整備や、地域通貨を活用した棚田保全のための取り組み等について支援するとともに、農村景観や生物多様性の保全、地域共同による資源保全向上活動を推進するなど、農村における人とひととの絆（ソーシャルキャピタル）の向上を図る。

(1) 田園空間整備事業	822,810千円
(2) 棚田地域の総合保全対策	8,099千円
(3) ため池里山人のにぎわい推進事業	4,500千円
(4) 魚のゆりかご水田推進プロジェクト事業	10,809千円
⑨(5) 魚のゆりかご水田環境直接支払パイロット事業費交付金	1,400千円
⑩(6) 田園資源・環境保全向上活動支援実験事業	37,480千円
(7) 都市農村交流対策事業	4,698千円